

## 「東北大学による東日本大震災 3 ヶ月後緊急報告会」を開催(2011/6/10)

本センターが所属する東北大学防災科学研究拠点の主催で「東北大学による東日本大震災 3 ヶ月後緊急報告会」を仙台国際センターにて開催しました。この緊急報告会は、地震発生から、1 ヶ月後、3 ヶ月後、6 ヶ月後(半年後)、1 年後、と開催していくもので、今回は第 2 回になります。今回は「津波による被災の実態とメカニズム」「地震・地震動と振動被害」「地域社会を取り巻く諸課題：保健医療・生活文化・情報・復興」の 3 つのオーガナイズドセッションに別れ、地震発生から 3 ヶ月を経過してこれまでに分かったことや、その取組み、復興に向けての提言等が報告されました。当日は、一般、民間企業、官公庁、大学、報道機関等を併せて述べ 332 名の方が来場され、講演内容を熱心に聴講されておりました。次回は、「東北大学による東日本大震災 6 ヶ月後緊急報告会」として、9 月中旬に開催する予定です。

当センターの構成員が発表したタイトルは次の通りです。

※<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/surveys/20110311/event.html> から DL できます。

### セッション 1 「津波による被災の実態とメカニズム」

今村文彦, 越村俊一ら：津波発生のメカニズム—津波浸水域を再現出来る波源モデルの検討—

越村俊一, 郷右近英臣：東北地方を襲った津波の流況と建物被害

真野明, 有働恵子ら：海岸堤防の被災メカニズム

今井健太郎ら：海岸林の被害と減勢効果

### セッション 2 「地震・地震動と振動被害」

大野晋：本震及び余震の揺れの分布

源栄正人：地震動と建物被害の関係

柴山明寛, 岡田成幸：震動域における被災建物の分布

### セッション 3 「地域社会を取り巻く諸課題：保健医療・生活文化・情報・復興」

佐藤健ら：災害保健医療支援室の活動から見た救援期の支援ニーズの推移

今村文彦, 佐藤翔輔ら：沿岸部でのリスク認識と対応についての調査

報告者名はセンター構成員のみ掲載

